

## 吹奏楽部、県大会で金賞受賞!!南九州大会出場権獲得!

7月29日(日)、iichiko総合文化センターで、第55回大分県吹奏楽コンクール高等学校小編成の部が行われました。本校吹奏楽部は、参加校11校のトップとして、緊張する中、1人1人が日頃の練習の成果を発揮し、見事金賞を受賞し(本校と杵築高校の2校が受賞)、南九州小編成吹奏楽コンテストへの出場権を獲得しました。外部指導者として献身的に指導して頂いている上岡敏宏さんは、「これまでで、一番いい演奏だった。生徒はよく頑張った」と、とても満足の様子でした。大会後も、吹奏楽部は、南九州大会に向けてさらに練習に力を入れていました。

8月11日(土)、鹿児島県で行われた、南九州小編成吹奏楽コンテストでは、結果は銅賞でしたが、「生徒は大変よく頑張った」と顧問の諫山文緒教諭と安部祥子教諭は、生徒の頑張りを讃えていました。

吹奏楽部は、7月22日(日)にくすまちメルサンホールで行われた「くすミュージックフェスティバル」にも参加し、地域行事にも積極的に参加しています。それでは、吹奏楽部の部員を紹介します。

- 【3年】坂田萌々香、山田詩織、吉光彩菜(玖珠中出身)、佐藤桃華、戸澤明花(このえ緑陽中出身) 藤本愛美(森中出身)  
 【2年】伊地知三咲子、岸遥紀、帆足真尋(玖珠中出身)、香下りの、町川実桜(このえ緑陽中出身)、吉良雄希(森中出身)、中島彩希(日出生中出身)  
 【1年】帆足真奈、馬越百香(玖珠中出身)、赤峰夏音、小野菜々花、香下璃子、小川恵莉、田吹奈々子、戸澤琴音(このえ緑陽中出身)、平山美織(日田三隈中出身) 計22名



## 書道部が、玖珠祇園15周年で野外書道パフォーマンスを行う

7月21日(土)、書道部が今年で15周年を迎えた玖珠祇園において野外で書道パフォーマンスを行いました。書道部3年生8名は、袴姿で凛々しい動き、素晴らしい筆遣いで、多くの観客が見つめる中、自分達の思いを書き表していきました。



そして、部長の太田果歩さんが最後に、「繫」を中央に揮毫し完成させると、観客から大きな拍手が送られ、玖珠祇園をさらに盛り上げることができました。

8名の出身中学は以下の通りです。

- 太田果歩(玖珠中出身)、白地希、吉平千歳(森中出身)、佐藤祐生香、吉光芽生、池部梨子、工藤美吹、小幡凌樺(このえ緑陽中出身)

また、書道部は、7月31日(火)、別府アリーナで行われた第56回高文連席上揮毫大会に17名が参加しました。この大会は、県内の書道部の生徒が日頃の成果を発表する大会で、3年生にとっては最後の大会となります。臨書の部で、佐藤祐生香さん(3年、このえ緑陽中出身)、太田果歩さん(3年、玖珠中出身)、後藤るなさん(2年、森中出身)の3名が、創作の部で、太田果歩さんが推奨を受賞しました。今後は、3年生が引退し、1、2年生での活動となり、美山祭でのパフォーマンスが最初の発表の場となります。



# みやま

# NEWS No-17

## 平成30年度『みやま』オープンスクール ありがとうございました!!

8月20日(月)に『みやま』オープンスクールを開催しました。玖珠郡内外の中学校14校から200名を超える中学生や保護者、引率の先生方の参加をいただきました。ありがとうございました。

今年は、開会前に参加者への歓迎の意を込めて、吹奏楽部1、2年生による演奏や紹介ビデオを視聴していただきました。全体会では、校長や生徒会長の歓迎の言葉ののち、学校紹介(学科や学校行事など)や部活動紹介を行いました。全体会後は、本校の教員による体験授業を実際に受講して高校での授業の雰囲気味わってもらいました。閉会行事後の部活動見学にも、多くの中学生の参加がありました。今回の『みやま』オープンスクールで、本校のことを知ってもらえたでしょうか。ぜひ、皆さんも玖珠美山高校で充実した高校生活3年間を過ごしませんか。お待ちしております。以下に、参加者のアンケートの一部を紹介します。



開会前の吹奏楽部演奏



神田生徒会長の歓迎の言葉

### 参加していただいた方々のアンケート(回答)より

- 生徒会が主体となった全体会から始まり、授業も工夫されていて、良かった。
- 今日来て良かったと思える内容でした。入学したいと思います。
- 英語の授業で、ペアで話し合う場面が多くて、とてもわかりやすかった。
- 雰囲気がとてもよく、明るく楽しい学校であり、ぜひ入学したいと思った。
- 先生方が優しく丁寧に教えてくれるので、授業もわかりやすかった。
- 生徒が優しく丁寧に対応していたし、あいさつも明るくてよかった。

### <体験授業の様子>

#### 体験授業実施科目一覧

- 体験授業① 国語・地歴(世界史、地理)・数学・理科・英語・音楽・簿記・農業  
 体験授業② 数学・地歴(世界史)・英語・音楽・美術・書道・情報・農業(野菜・草花・畜産・食品製造)



情報「Excelを学ぶ」



数学「石取りゲームと数列」



農業(畜産)「農業機械に乗ってみよう」



書道「世界に一つだけの作品をつくらう!」



国語「意外と身近な古典の世界」



農業(草花)「コサージュ作り」

## 天明麻衣子さんを講師に招き、進路講演会を実施しました

8月31日(金)7限、天明麻衣子さんを講師に招いて、「時短勉強術法」と題して、全校生徒を対象に、進路講演会を実施しました。天明麻衣子さんは、東大に現役合格した、『Qさま!!』で話題の新学力女王です。講演では、勉強していく上で大事な5項目(右表参照)について、自らの体験を交えながら、わかりやすくスライドを使いながら説明していただきました。とても興味深い、参考になる講演でした。講演後には、天明さんと全校生徒で記念撮影を行い、生徒にとっては印象に残る一日となりました。生徒の感想を一部紹介します。

### 《時短勉強術法より5項目》

- スキマ時間の活用
- 効果的なノートの取り方
- 6時間以上の睡眠時間の確保
- 計画は3パターン立てよ
- 机の上の整理方法

- ・興味深い話で、とても参考になりました。早速、1つずつ実行していきたいと思います。
- ・とてもきれいな方で、聞きやすい声でした。今日は、天明さんの講演を聞くことができて良かったです。



## 韓国の忠北生命産業高校との交流会を実施しました

9月6日(木)に、韓国の忠北生命産業高校より生徒47名、教員6名が本校を訪れ、本校2、3年の地域産業科の生徒と交流をしました。忠北生命産業高校は、韓国政府が先進技術を有する農業技術者を養成するために作った全寮制の学校です。4つの農業系の学科があり、今回は内2学科の生徒が、本校と教育内容の学びや親交を深めるために訪問したということです。まず、全体会では、本校のバークマット、レンゲツツジの取組を3年生が発表し、韓国高校生の質問などを受ける形で、研究内容の理解を深めました。さらに、実際に本校の施設に移動し、温室内の見学や説明をしながら、楽しそうに意見交換をしました。最後には、昼食を一緒に食べながら、連絡先の交換や写真を取り合ったりと本当に楽しいひとときを過ごし、別れを惜しんでいました。約2時間半という時間でしたが、とても生徒にとっては有意義な交流となりました。



## アメリカ合衆国での充実の24日間!! 海外短期留学生3名が帰国

7月28日から8月20日までの24日間、アメリカ合衆国ワシントン州オークハーバーでの短期留学に、本校生3名(1年2名、2年1名)が参加しました。帰国後、参加者3名は、8月28日(火)に宿利玖珠町長へ、海外短期留学終了の報告を行い、玖珠町からの支援に対する感謝の気持ちを述べました。また、9月6日(木)に行われた学校運営協議会でも、パワーポイントを使いながら、海外短期留学の報告を行いました。今後は、美山祭(文化の部)2日目に報告発表を行う予定です。

最後に、参加者3名の感想(要約)を紹介します。



宿利玖珠町長に報告に行きました。

### 普通科2年 日隈 七海

(玖珠中学校出身)



私は今回の留学を通して気づいたことは、積極的に自分の気持ちや考えを伝えることが大事ということです。私は、自分の思いを伝えることが苦手でしたが、YES、NOをきちんと示すことで、自分の気持ちを伝えるように心掛け、できるようになり、友達もたくさんできました。この留学に参加する前は不安しかありませんでしたが、ホストファミリーと過ごす中で、その不安は消えてしまいました。英語の学習だけでなく、アメリカの文化や習慣もまなぶことができました。この経験をこれからの生活のいろいろな場面で活かしていきたいと思います。

### 普通科1年 陶山 慎護

(森中学校出身)



今回の留学において、学校での授業や課外活動、ホストファミリーと過ごす時間の中で、アメリカの文化や習慣などを学ぶことができたことは、私にとって大きな収穫でした。一日が英語で始まり、英語で終わるというように朝から晩まで英語に触れる機会があったことは、何よりも幸せでした。おかげで、留学する前よりも、英語に対する気持ちが大きく前向きになりました。「間違えても積極的に」と思えるようになりました。今後は今まで以上に、英語学習に真剣にかつ積極的に取り組んでいこうと思います。

### 普通科1年 向井 隆真

(玖珠中学校出身)



私は今回の留学で、日本とアメリカの文化や習慣、考え方の違いを学ぶことができました。ホームステイ先では、母が料理を作り、父が片付けするというルールができていました。家事を分担することで、家庭内の限られた人に負担がかからないようにすることは素晴らしいと思いました。また、私は、アメリカでは家の中でも靴を履いていると思っていましたが、ホストファミリーでは家に入るときには、家の中を汚さないようにと、日本と同じく靴を脱いでいました。アメリカ人の柔軟さに驚きました。また、機会があれば、自分の視野を広げるために、また海外に行ってみたいです。



留学中の一コマ  
(参加者仲間との食事タイム)